

2007年4月24日 電波新聞

富士通と CSL

仙台にサポートセンター 10月からサービス開始

富士通と富士通コミュニケーションサービス（CSL、南昌宏社長）は、BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）サービス強化の一環として、CSL のコンタクトセンターサービスの6拠点目となる「仙台サポートセンター」を今秋に開設する。

名称は仙台サポートセンターで、所在地は仙台市青葉区、サービス開始は10月上旬、要員は08年3月時点で180人、08年9月時点で300人を見込んでいる。

サポート内容は、PC操作指導などの高度なテクニカル系サポート業務を実施する。

特徴は、非接触型カードの使用による入退室記録管理や監視カメラ設置などの高度なセキュリティ環境を実現し、かつ顧客満足度を支えるCRMソフトや音声認識・品質管理ツールなどを装備した業界最先端のコンタクトセンター。

正社員の採用、契約社員採用後のスキル向上に応じた正社員登用など長期雇用を前提とした人事制度で、採用は仙台市および周辺地区、京浜地区からのUターン希望者を予定している。

電波新聞社のご了承をいただいております。記事を全文掲載しております。